

全国

検数労連

第768号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

4月30日(火) 13:30~15:00 第8回 検数労連24春闘交渉

職場からの強い不満を受け、再度、修正回答を求める！

【第8回24春闘交渉】

4月30日(火)第8回検数労連24春闘交渉で、組合は両協会に対し、前回交渉で提示された賃金の修正回答および諸要求部分の回答を求め、交渉を行いました。

【全日検】

前回の交渉では有額回答を提示したが、労組より『低額であり不満。修正回答を求める』とし、持ち帰り検討した。しかしながら、これまでの交渉で説明してきた通り、全日検を取り巻く環境は厳しく、その状況下で様々な角度から検討を重ねた結果の回答であり、これ以上の修正は困難である。労組においては賢明な判断をしていただきたく思う。

《諸要求回答》

諸要求に対する回答では、労働時間短縮について、各支部時短員会での対策を講じていることや、時間外基礎分母の段階的な短縮。

産別継続課題の履行については、65才定年制の実施に向けて、春闘終了後に協議促進を図ることや、放射能検査に係わった従業員に対する電離放射線健康診断の実施の検討。各種休暇の高率の取得率。

地域・企業別要求に対して、要求は真摯に受け止め対応していきたいと

の回答を受けました。

【日検協会】

前回の交渉で、労組より修正回答を求められ、持ち帰り検討してきた。しかしながら、前回提示した回答は、これまで説明してきた通り、現在の諸物価高騰から従業員の生活安定や仕事へのモチベーションを上げるために、協会判断のもとで最大限努力した回答であることを理解していただきたい。

《諸要求回答》

諸要求に対する回答では、時間外基礎分母の短縮については産別協定順守に向け努力し、本年度も1時間減の150時間としている。

長時間労働の是正については、企業内現地労使安全衛生委員会や時短委員会などで、平準化に取り組んでいる。また、本部においても点検を実施し、管理体制の強化に努めている。指定事業体課題には、企業内労使の協議・促進を継続していきたい。

港湾の軍事利用については、安心・安全を希求する考えに相違ないが、政治的な課題であり企業としてのコメントは差し控えたい。

人員不足の解消に向けて、各支部で新たな学校を開拓するなど精力的に採用活動を行っている。また、採用枠に捉われないことなく人材の確保に努めているとの回答を受けました。

【組合主張】

組合は両協会の回答を受け、休憩をはさみ分析を行った結果、次の通り主張を行いました。

本日の回交で、金額修正が示されなかったことは極めて残念である。

賃金引上げについては、組合員の生活防衛であるとともに事業基盤を安定させるうえで極めて重要な位置づけにあると同時に、人材の定着や離職率を低下させる面がある。

職場からは現賃金回答に対する不満の声が多数上がっている。職場からの不満や切実な生活実態を受け止めたうえで諸物価高騰に対抗できる修正回答を強く求める。

65才定年制の実施については、2025年度までに実施すべく企業内労使協議の促進を強く求める。

人員採用については、福利厚生面や独自性を出すためのアイデアを考えていく必要がある。

港湾の軍事利用は、検数労働者として戦争の惨禍に晒されることのないよう労使共同対応が重要である。

次回交渉

5月8日(水)

15時~

第9回24検数
労連春闘交渉。
再度、修正回答
を求めます。